



2020年9月25日

各 位

会 社 名 日本精線株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新貝 元
 (コード番号 5659 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 長澤 修一
 (TEL 06-6222-5432)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年9月25日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月27日に公表した2021年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想及び第2四半期末配当予想を修正し、未定としておりました通期連結業績予想及び期末配当予想につきまして、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2021年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	16,000	800	800	600	97.82
今回発表予想 (B)	15,000	800	950	700	114.13
増減額 (B-A)	△ 1,000	0	150	100	
増減率 (%)	△ 6.3	0.0	18.8	16.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	17,203	760	794	558	91.10

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回発表予想 (B)	31,500	1,900	2,100	1,500	244.56
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	34,910	1,926	1,999	1,395	227.48

業績予想の理由

第2四半期(累計)連結業績予想については、コロナ禍を起因とした生産調整や在庫調整によって、ステンレス鋼線の販売が低迷し、売上高は当初予想を下回りました。利益面では、多能工化による人員シフトや計画休業によって操業度損を抑制するとともに、コロナ自粛による販管費削減や雇用調整助成金が寄与し、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想に比べて増益を見込んでおります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年3月期の通期の連結業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき通期業績予想を開示いたします。なお、未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期を見通すことは困難であることから、第3波以降の影響(緊急事態宣言が再発令されるような事態)は想定しておりません。

ステンレス鋼線については、上半期に50%減(2019年上期比)まで落ち込んでいた自動車関連向け販売数量が、概ね20%減の水準まで回復することを見込んでおります。半導体関連向けの超精密ガスフィルター(NASclean®)については、在庫調整が続き本格的な回復は2021年度以降となる見込みであり、ほぼ第2四半期並みに推移することを予想しております。

2. 配当予想について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年4月27日発表)	35円00銭	—	—
今回発表予想	40円00銭	45円00銭	85円00銭
当期実績	—		
前期実績 (2020年3月期)	35円00銭	45円00銭	80円00銭

配当予想の理由

当期の配当金につきましては、業績予想等を勘案し、2020年4月27日に公表しました前回予想から第2四半期末配当金を1株につき5円増配し、1株当たり40円といたします。また、2021年3月期の期末配当についても未定としておりましたが、1株当たり45円といたします。その結果、年間配当金は1株当たり85円となります。

(注)上記の業績予想及び配当予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上